



2026年1月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年3月13日

上場会社名 株式会社ストリーム 上場取引所 東
 コード番号 3071 URL https://www.stream-jp.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 市村 智樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 斉 向東 (TEL) 03(6823)1125
 定時株主総会開催予定日 2026年4月23日 配当支払開始予定日 2026年4月24日
 有価証券報告書提出予定日 2026年4月22日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年1月期の連結業績(2025年2月1日~2026年1月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|--------|------|------|------|------|------|---------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年1月期 | 32,774 | 8.2 | 281 | 8.1 | 280 | 16.5 | 150 | — |
| 2025年1月期 | 30,296 | 10.4 | 260 | 42.8 | 240 | 48.6 | 4 | △86.3 |

(注) 包括利益 2026年1月期 148百万円(—%) 2025年1月期 △2百万円(—%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2026年1月期 | 5.45 | — | 5.2 | 4.3 | 0.9 |
| 2025年1月期 | 0.15 | — | 0.1 | 3.9 | 0.9 |

(参考) 持分法投資損益 2026年1月期 ー百万円 2025年1月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2026年1月期 | 6,725 | 2,981 | 43.8 | 106.53 |
| 2025年1月期 | 6,305 | 2,913 | 45.6 | 104.07 |

(参考) 自己資本 2026年1月期 2,944百万円 2025年1月期 2,876百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2026年1月期 | 914 | △186 | △256 | 1,367 |
| 2025年1月期 | 943 | △273 | △424 | 895 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2025年1月期 | — | 0.00 | — | 3.00 | 3.00 | 82 | 1,989.7 | 2.8 |
| 2026年1月期 | — | 0.00 | — | 3.00 | 3.00 | 82 | 55.0 | 2.8 |
| 2027年1月期(予想) | — | 0.00 | — | 3.00 | 3.00 | | 43.0 | |

3. 2027年1月期の連結業績予想(2026年2月1日~2027年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| 通 期 | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----|--------|-----|------|-----|------|-----|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| | 33,881 | 3.4 | 294 | 4.3 | 287 | 2.3 | 192 | 27.9 | 6.98 |

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料14ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2026年1月期 | 28,525,000株 | 2025年1月期 | 28,525,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2026年1月期 | 888,500株 | 2025年1月期 | 888,500株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2026年1月期 | 27,636,500株 | 2025年1月期 | 27,636,500株 |

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年1月期の個別業績 (2025年2月1日~2026年1月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|--------|------|------|------|------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年1月期 | 31,995 | 8.6 | 255 | 40.4 | 253 | 57.9 | 178 | 89.8 |
| 2025年1月期 | 29,474 | 10.4 | 182 | 3.2 | 160 | 3.1 | 94 | △1.2 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|----------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年1月期 | 6.47 | — |
| 2025年1月期 | 3.41 | — |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2026年1月期 | 6,393 | 2,971 | 46.2 | 106.83 |
| 2025年1月期 | 5,973 | 2,873 | 47.8 | 103.36 |

(参考) 自己資本 2026年1月期 2,952百万円 2025年1月期 2,856百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「今後の見通し」をご覧ください。

※ 決算補足説明資料の入手方法

決算補足説明資料は、2026年3月27日(金)に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 4 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 5 |
| (4) 今後の見通し | 6 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 6 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 7 |
| (1) 連結貸借対照表 | 7 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 9 |
| 連結損益計算書 | 9 |
| 連結包括利益計算書 | 10 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 11 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 13 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 14 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 14 |
| (会計方針の変更) | 14 |
| (表示方法の変更) | 14 |
| (セグメント情報等) | 15 |
| (1株当たり情報) | 17 |
| (重要な後発事象) | 17 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2025年2月～2026年1月)におけるわが国経済は、家計の節約志向は根強いものの、雇用・所得環境の改善等により緩やかに回復しております。一方、米国の通商政策の動向や地政学リスク等に伴う為替変動、エネルギー資源・原材料価格の高騰、生活必需品の物価高騰が個人消費に与える影響等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは、お客様のライフスタイル作りのサポートとして「より良い商品」「より良い価格」「より良いサービス」をモットーに、新しい価値観の提案・提供を通して社会の発展に貢献することを経営の基本方針に、既成概念にとらわれることなくチャレンジを続け、インターネット通販事業を中心に事業活動を行っております。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

①インターネット通販事業

当連結会計年度(2025年2月～2026年1月)における国内の家電小売業界におきましては、パソコン、周辺機器、気候要因によるエアコン等の季節商品やスマートフォン等が好調に推移いたしました。

このような状況の中、当社が出店する「Yahoo!ショッピング」「楽天市場」「Amazonマーケットプレイス」等の外部サイトの売上高は、ポイント等の効果的な販促施策の展開により、スマートフォン、デジタルカメラ、カメラ用レンズ、ヘッドフォン、エアコン、電子レンジ等を中心に好調に推移いたしました。今後も売れ筋商品の在庫施策等により更なる売上高確保に努めてまいります。

商品購入検討時の問い合わせ用にWEB接客ツールのチャット機能を導入している「ecカレント」オリジナルサイト、「楽天市場」及び「Yahoo!ショッピング」の外部サイトにおける大型家電の配送設置サービスは、きめ細やかな接客を通してお客さまに合ったご提案を行うよう努めております。

2024年10月より東京都民の方を対象とした設置済みのエアコン・冷蔵庫・照明器具等を、省エネ性能の高い新品の対象家電等買い替えた際に付与される「東京ゼロエミポイント」の制度変更により、当社は、SDGsの観点からインターネット通販企業として先駆けて東京ゼロエミポイント登録事業者となっており、「ecカレント」オリジナルサイト及び「ecカレント楽天市場店」等の店舗で、その場でポイント分がご購入金額から最大で8万円分値引きされる「省エネ家電」への積極的な買い替え訴求を同サイトにて行い、対象家電の売上高は堅調に推移いたしました。

2017年4月に総合オンラインストア「楽天市場」内へインターネット通販サイト「ワンズマート楽天市場店」を出店して以降、当社はオンラインモールを活用した販路拡大に取り組んでまいりました。こうした取り組みの一環として、2025年10月、オンラインショッピングモール「Yahoo!ショッピング」内に、当社運営のインターネット通販サイト「ワンズマートYahoo!ショッピング店」を新たにオープンいたしました。

さらに2025年12月、シャディ株式会社と事業提携契約を締結し、当社が運営する「ecカレント」をはじめとするECサイトおよび主要オンラインモールにおいて、同社が取り扱うギフト商品の販売を順次開始いたしました。

当社は今後も販路の拡大や取り扱いアイテムの拡充を行い、多くのお客さまに喜んでいただけるサービスを提供してまいります。

2025年10月、当社が運営している「ecカレント」をはじめとするインターネット通販サイト向けコールセンターを、本社内に新たに開設いたしました。これまでアウトソーシングで行っていたコールセンター業務を社内に移管することで、各部署との連携強化による迅速なフィードバック体制の構築、業務ノウハウの蓄積・共有を可能とし、お客様に寄り添ったサービス品質の向上を図ります。今回の内製化により、コスト面の抜本的な見直しを行い、従来比で50%以下への削減を目指します。さらに、物流面においても外部環境の変化に柔軟かつ迅速に対応するため、直雇用への切替等を適宜進め、コスト削減と安定したサービス提供の両立を実現してまいります。

各カテゴリにおける前年同期比では家電0.8%増、パソコン19.0%増、周辺機器・デジタルカメラ18.0%増となりました。売上高及び利益面に関しましては、前年同期比で増収増益となりました。

その結果、インターネット通販事業における売上高は31,583百万円(前年同期比8.7%増)、営業利益638百万円(前年同期比12.7%増)となりました。

インターネット通販事業の売上・受注件数等の推移

| | 売上高(百万円) | 営業損益(百万円) | 受注件数(千件) | 棚卸資産回転率 (回転/年) |
|----------|----------|-----------|----------|-------------------|
| 2026年1月期 | 31,583 | 638 | 1,017 | 13.8 |
| 2025年1月期 | 29,059 | 566 | 1,042 | 12.0 |

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。

商品別販売動向

(百万円)

| | 家電 | パソコン | 周辺/デジカメ | その他 | 合計 |
|----------|--------|-------|---------|-------|--------|
| 2026年1月期 | 14,631 | 5,732 | 10,148 | 1,070 | 31,583 |
| 2025年1月期 | 14,519 | 4,815 | 8,602 | 1,122 | 29,059 |

※当該数値は、独立監査人による監査を受けておりません。

②ビューティー&ヘルスケア事業

株式会社エクスワンにおいて展開される、ビューティー&ヘルスケア事業においては、新商品として、2026年1月に「XLUXES(エクスリュクス)」シリーズより、従来品から更に進化させ3種のヒト幹細胞培養液を配合した「エグゼティション マッサージクレンジング」および「エグゼティション クリームウォッシュ」を発売し、おかげさまで売上高は堅調に推移いたしました。

会員ビジネスにおいては、WEB会議アプリケーションによる動画(ライブ含む)配信を活用したオンラインセミナーに加えて、2025年3月より東京、大阪、新潟で対面でのT i k T o k 関連講座を開催したほか、11月にはプロダクトセミナーも実施いたしました。このような活動により、会員とのきめ細やかなコミュニケーションを図ることができ、売上高は堅調に推移いたしました。

エクスワンの直営店舗「エクスリュクス横浜」では、2025年11月にブラックフライデー半額セールを開催し、3,000円以上の購入でヒト幹細胞コスメのシャンプー&トリートメントのサンプルパウチ包を提供する等各種販促施策によりブランディングの強化を図りました。一方で、2022年4月より営業しておりました同店舗につきましては、2026年1月12日をもって営業を終了することとなりました。これに伴い、2025年12月から最終営業日までの期間、定価より最大60%オフとなる売り尽くしセールを実施いたしました。

卸販売においては、訪日外国人旅行者数が2025年1月からの一年間の累計で過去最多の4,000万人を突破した状況を受け、免税店舗の売上高は堅調に推移いたしました。一方、会員向けビジネスは、計画をやや下回る結果となり、全体の売上高は減収となりました。利益面においては、店舗数拡大に伴う人員増強による人件費の増加により減益となりました。

その結果、ビューティー&ヘルスケア事業における売上高は831百万円(前年同期比5.2%減)、営業利益26百万円(前年同期比65.9%減)となりました。

ビューティー&ヘルスケア事業の売上推移

(百万円)

| | パーソナルケア | ヘルスケア | その他 | 合計 |
|----------|---------|-------|-----|-----|
| 2026年1月期 | 439 | 268 | 123 | 831 |
| 2025年1月期 | 440 | 272 | 163 | 877 |

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。

※当該数値は、独立監査人による監査を受けておりません。

③その他事業（「各種販売支援事業」、「3PL事業」、「不動産事業」）

「各種販売支援事業」においては、ラオックス等の国内免税店舗等において訪日観光客向け販売や株式会社エックスワン商品の会員向け販売のシステム・物流支援等を行っております。

「3PL事業」においては、当社が運営する「e c カレント」をはじめインターネット通販サイト運営で培ってきたノウハウを基に、販売から物流までワンストップで管理する質の高いシステムをインターネット通販事業者の皆さまに対して提供してきた実績を活かし、物流倉庫・受注管理・出荷の包括的な物流支援サービスを行っており、パソコンや家電以外に自転車等のアイテムやスポット対応等柔軟なサービスを提供しております。

「不動産事業」においては、国内案件のみならず、海外のお客様も対象に、不動産の売買・賃貸等に関する仲介事業を展開しております。

その結果、その他事業における売上高は412百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益1百万円（前年同期は7百万円の営業損失）となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は32,774百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益281百万円（前年同期比8.1%増）、経常利益280百万円（前年同期比16.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は150百万円（前年同期は4百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（資産の部）

当連結会計年度末における資産は、前連結会計年度末に比べ420百万円増加し、6,725百万円となりました。これは主に、現金及び預金471百万円増加、商品53百万円減少によるものであります。

（負債の部）

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ352百万円増加し、3,744百万円となりました。これは主に、買掛金540百万円増加、短期借入金133百万円減少、未払金78百万円減少によるものであります。

（純資産の部）

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ68百万円増加し、2,981百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益150百万円の計上、配当金の支払82百万円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度においては、営業活動によるキャッシュ・フローは914百万円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローは186百万円の使用、財務活動によるキャッシュ・フローは256百万円の使用となり、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末から471百万円の増加となり、1,367百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果増加した資金は、914百万円（前年同期は943百万円増加）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益229百万円、非資金項目である減価償却費172百万円、棚卸資産の減少額61百万円、仕入債務の増加額540百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額61百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果使用した資金は、186百万円（前年同期は273百万円使用）となりました。支出の主な内訳は、無形固定資産の取得による支出151百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果使用した資金は、256百万円（前年同期は424百万円使用）となりました。支出の主な内訳は、短期借入金の純減額133百万円、長期借入金の返済による支出36百万円、配当金の支払額83百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 2022年1月期 | 2023年1月期 | 2024年1月期 | 2025年1月期 | 2026年1月期 |
|-------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率 | 36.9 | 46.6 | 47.6 | 45.6 | 43.8 |
| 時価ベースの自己資本比率 | 42.1 | 48.5 | 49.9 | 45.1 | 44.0 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率 | 167.8 | 450.4 | — | 91.0 | 75.3 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ | 26.2 | 13.6 | — | 80.1 | 136.9 |

(注1) 各指標は下記の算式に基づき算出しております。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により算出しております。

(注3) 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

(注4) 2024年1月期の営業キャッシュ・フローがマイナスのため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率並びにインタレスト・カバレッジ・レシオは算定しておりません。

(4) 今後の見通し

当社グループの主力事業である、インターネット通販事業においては、インターネット（主に検索連動型）等の広告やT i k T o k等のSNSを活用したマーケティング活動と共に、売れ筋商材の確保、在庫適正化を引き続き推進してまいります。また、オリジナルサイト「e cカレント」では、2024年よりお客様がお探しの商品や商品の利用方法について生成A Iを活用して案内する『A Iチャット』やVポイントサービスの導入を行っておりますが、これからもC S（顧客満足度）の更なる向上を目指し、より多くのお客様からの高評価レビュー獲得及びC V R（顧客転換率：サイト訪問者数に対する問い合わせ数や商品購入数の割合）の向上へ繋げてまいります。

売上高確保の大きな要因となっている「楽天市場」等の外部サイトにおいては、引き続き販売促進イベントに積極的に参加するのに加え、2025年7月より新たに加わった、Eコマースプラットフォーム「メルカリS h o p s」等外部サイトの多様な販路や取り扱いアイテムの更なる展開により、一層の売上高を確保して行く方針です。また、リピート客や法人需要に対応するべく品揃えを充実し、インターネット（主に検索連動型）等での広告や各種キャンペーンの展開による認知向上及び新規顧客の獲得強化を進めてまいります。

当社は、「持続可能」な社会の実現に向けて「リユース」活動の推進を行っております。中古家電販売サービス「ちゅうとこ」の取り組みを通じ、「持続可能」な社会の実現に向け、お客様と共に地道にかつ真摯に取り組んでまいります。

ビューティー&ヘルスケア事業においては、会員数拡大が重要な施策であり、ビジネス会員獲得のため対面やW E B会議アプリケーションを用いたT i k T o k関連セミナーなども引き続き開催し、ビジネスの更なる活性化に向け細やかなフォローアップを行ってまいります。

商品開発においては、インバウンド需要に対応する方針の下、外国人観光客向けの商品やスキンケア商品の導入を予定しております。

卸販売については、2025年における訪日観光客数が過去最多の4,000万人を突破したことを背景に、免税店舗を中心とした需要が拡大し、売上高は堅調に推移いたしました。2026年においても現時点では訪日需要は底堅く推移する見通しです。こうした市場環境を踏まえ、外部環境の変動要因には留意をしつつ直営店舗はじめ百貨店等他社店舗について順次新規店舗を増やしていく予定であります。

その他事業では、「e cカレント」をはじめインターネット通販サイト運営で培ってきたノウハウを基に物流倉庫・受注管理・出荷の包括的な物流支援サービスである3 P L（サードパーティロジスティクス）の強化に努めてまいります。また、不動産事業においては、国内案件のみならず、訪日外国人も対象にした、不動産の売買・賃貸等に関する仲介に加え運営管理代行サービス等を進めてまいります。

これら施策により、2027年1月期の業績につきましては、売上高33,881百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益294百万円（前年同期比4.3%増）、経常利益287百万円（前年同期比2.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益192百万円（前年同期比27.9%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの主要業務は、日本国内で行われており、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。なお、今後の国際会計基準の適用に関しては、国内外の諸事情を考慮した上で、検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2025年1月31日) | 当連結会計年度 (2026年1月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 895,143 | 1,367,033 |
| 売掛金 | 1,699,813 | 1,761,584 |
| 商品 | 2,613,710 | 2,559,826 |
| その他 | 142,932 | 104,696 |
| 流動資産合計 | 5,351,599 | 5,793,140 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 179,273 | 167,275 |
| 減価償却累計額 | △69,929 | △76,609 |
| 建物(純額) | 109,343 | 90,666 |
| 車両運搬具 | 9,956 | 9,956 |
| 減価償却累計額 | △4,336 | △5,540 |
| 車両運搬具(純額) | 5,620 | 4,415 |
| 工具、器具及び備品 | 395,889 | 360,043 |
| 減価償却累計額 | △339,009 | △304,347 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 56,880 | 55,695 |
| 土地 | 2,003 | 2,003 |
| 建設仮勘定 | - | 660 |
| 有形固定資産合計 | 173,847 | 153,441 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 344,761 | 351,368 |
| その他 | 15,764 | 16,142 |
| 無形固定資産合計 | 360,525 | 367,510 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 10,318 | 10,379 |
| 出資金 | 270 | 280 |
| 長期貸付金 | 237,000 | 262,000 |
| 差入保証金 | 346,201 | 345,678 |
| 繰延税金資産 | 26,660 | 28,434 |
| その他 | 51,718 | 42,774 |
| 貸倒引当金 | △252,876 | △277,876 |
| 投資その他の資産合計 | 419,293 | 411,671 |
| 固定資産合計 | 953,666 | 932,623 |
| 資産合計 | 6,305,266 | 6,725,764 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2025年1月31日) | 当連結会計年度 (2026年1月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,652,763 | 2,193,464 |
| 短期借入金 | 733,336 | 600,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 36,468 | 16,008 |
| 未払金 | 664,122 | 585,478 |
| 未払法人税等 | 34,686 | 57,492 |
| 契約負債 | 13,134 | 6,825 |
| 賞与引当金 | 4,666 | 4,666 |
| その他 | 106,735 | 120,090 |
| 流動負債合計 | 3,245,912 | 3,584,025 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 73,290 | 57,282 |
| 資産除去債務 | 56,687 | 82,938 |
| 繰延税金負債 | 594 | 6,123 |
| その他 | 15,577 | 13,998 |
| 固定負債合計 | 146,149 | 160,342 |
| 負債合計 | 3,392,061 | 3,744,367 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 924,429 | 924,429 |
| 資本剰余金 | 885,633 | 885,633 |
| 利益剰余金 | 1,175,772 | 1,243,594 |
| 自己株式 | △109,659 | △109,659 |
| 株主資本合計 | 2,876,176 | 2,943,997 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 41 | 101 |
| その他の包括利益累計額合計 | 41 | 101 |
| 新株予約権 | 16,778 | 19,175 |
| 非支配株主持分 | 20,208 | 18,120 |
| 純資産合計 | 2,913,204 | 2,981,396 |
| 負債純資産合計 | 6,305,266 | 6,725,764 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日) | 当連結会計年度 (自 2025年2月1日 至 2026年1月31日) |
|--------------------|--|--|
| 売上高 | 30,296,973 | 32,774,910 |
| 売上原価 | 25,291,307 | 27,548,250 |
| 売上総利益 | 5,005,666 | 5,226,659 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,745,000 | 4,944,873 |
| 営業利益 | 260,666 | 281,785 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,785 | 4,779 |
| 受取配当金 | 12 | 12 |
| 受取手数料 | 741 | 543 |
| 為替差益 | 96 | 141 |
| 受取ロイヤリティー | 198 | 27 |
| 預り金整理益 | 521 | 800 |
| その他 | 2,675 | 1,735 |
| 営業外収益合計 | 7,029 | 8,041 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 11,768 | 6,687 |
| 支払手数料 | 14,052 | 2,050 |
| その他 | 936 | 294 |
| 営業外費用合計 | 26,757 | 9,032 |
| 経常利益 | 240,938 | 280,794 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | - | 2,450 |
| 資産除去債務戻入益 | 356 | 3,767 |
| 特別利益合計 | 356 | 6,217 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | - | 6,040 |
| 減損損失 | - | 26,638 |
| 出資金評価損 | 16,000 | - |
| 貸倒引当金繰入額 | 164,000 | 25,000 |
| リース解約損 | 3,801 | - |
| 特別損失合計 | 183,801 | 57,678 |
| 税金等調整前当期純利益 | 57,493 | 229,332 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 59,057 | 76,934 |
| 法人税等調整額 | 969 | 3,754 |
| 法人税等合計 | 60,026 | 80,689 |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | △2,533 | 148,643 |
| 非支配株主に帰属する当期純損失(△) | △6,700 | △2,087 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 4,166 | 150,730 |

連結包括利益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日) | 当連結会計年度 (自 2025年2月1日 至 2026年1月31日) |
|------------------|--|--|
| 当期純利益又は当期純損失 (△) | △2,533 | 148,643 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3 | 60 |
| その他の包括利益合計 | 3 | 60 |
| 包括利益 | △2,530 | 148,704 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 4,170 | 150,791 |
| 非支配株主に係る包括利益 | △6,700 | △2,087 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|---------|---------|-----------|----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 924,429 | 885,633 | 1,254,515 | △109,659 | 2,954,919 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △82,909 | | △82,909 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 4,166 | | 4,166 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | - | - | △78,742 | - | △78,742 |
| 当期末残高 | 924,429 | 885,633 | 1,175,772 | △109,659 | 2,876,176 |

| | その他の包括利益累計額 | | 新株予約権 | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------------|--------|---------|-----------|
| | その他有価証券評価差額金 | その他の包括利益累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | 37 | 37 | 7,190 | 26,908 | 2,989,056 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △82,909 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | 4,166 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 3 | 3 | 9,587 | △6,700 | 2,890 |
| 当期変動額合計 | 3 | 3 | 9,587 | △6,700 | △75,851 |
| 当期末残高 | 41 | 41 | 16,778 | 20,208 | 2,913,204 |

当連結会計年度(自 2025年2月1日 至 2026年1月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|---------|---------|-----------|----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 924,429 | 885,633 | 1,175,772 | △109,659 | 2,876,176 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △82,909 | | △82,909 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 150,730 | | 150,730 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | - | - | 67,821 | - | 67,821 |
| 当期末残高 | 924,429 | 885,633 | 1,243,594 | △109,659 | 2,943,997 |

| | その他の包括利益累計額 | | 新株予約権 | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|------------------|-------------------|--------|---------|-----------|
| | その他有価証券 評価差額金 | その他の包括利益 累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | 41 | 41 | 16,778 | 20,208 | 2,913,204 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △82,909 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | 150,730 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 60 | 60 | 2,396 | △2,087 | 370 |
| 当期変動額合計 | 60 | 60 | 2,396 | △2,087 | 68,191 |
| 当期末残高 | 101 | 101 | 19,175 | 18,120 | 2,981,396 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日) | 当連結会計年度 (自 2025年2月1日 至 2026年1月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 57,493 | 229,332 |
| 減価償却費 | 184,318 | 172,311 |
| 減損損失 | - | 26,638 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 164,000 | 25,000 |
| 受取利息及び受取配当金 | △2,797 | △4,792 |
| 支払利息 | 11,768 | 6,687 |
| 為替差損益 (△は益) | △96 | △141 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | - | 3,590 |
| 出資金評価損 | 16,000 | - |
| 資産除去債務戻入益 | △356 | △3,767 |
| リース解約損 | 3,801 | - |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △183,188 | △61,770 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | 258,464 | 61,245 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 391,977 | 540,701 |
| その他 | 108,693 | △23,051 |
| 小計 | 1,010,079 | 971,984 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,797 | 4,792 |
| 利息の支払額 | △11,768 | △6,678 |
| 法人税等の支払額 | △57,955 | △55,599 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 943,151 | 914,498 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △11,811 | △5,640 |
| 有形固定資産の売却による収入 | - | 2,450 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △149,827 | △151,156 |
| 子会社株式の取得による支出 | △10,000 | - |
| 貸付けによる支出 | △106,000 | △25,000 |
| 差入保証金の差入による支出 | △21 | △3,676 |
| 差入保証金の回収による収入 | 4,448 | 4,342 |
| その他 | - | △7,710 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △273,212 | △186,391 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △266,664 | △133,336 |
| 長期借入金の返済による支出 | △71,928 | △36,468 |
| 配当金の支払額 | △82,719 | △83,197 |
| その他 | △2,695 | △3,214 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △424,006 | △256,216 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 245,932 | 471,890 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 649,210 | 895,143 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 895,143 | 1,367,033 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

(表示方法の変更)

前連結会計年度において、「固定負債」の「その他」に含めていた「資産除去債務」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「固定負債」の「その他」に表示していた72,264千円は、「資産除去債務」56,687千円、「その他」15,577千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業の内容別に区分されたセグメントから構成されており、「インターネット通販事業」、「ビューティー&ヘルスケア事業」及び「その他事業」の3つを報告セグメントとしております。

なお、報告セグメントの主要な事業内容は以下のとおりであります。

このうち、「インターネット通販事業」に含めて記載しているレンタル事業は、2026年1月31日をもって終了いたしました。

| 報告セグメント | 主要な事業内容 |
|----------------|------------------------------------|
| インターネット通販事業 | 家電、パソコンを中心としたインターネット通信販売事業及びレンタル事業 |
| ビューティー&ヘルスケア事業 | 化粧品、健康食品を中心とした生活必需品の販売事業 |
| その他事業 | 各種販売支援事業、3PL事業及び不動産事業 |

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 | 連結財務諸表 計上額 |
|------------------------|-----------------|------------------------|---------|------------|----------|---------------|
| | インターネッ ト通販事業 | ビューティー &ヘルスケア 事業 | その他事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 29,058,868 | 870,479 | 367,626 | 30,296,973 | — | 30,296,973 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 1,101 | 6,663 | 46,643 | 54,408 | △54,408 | — |
| 計 | 29,059,969 | 877,143 | 414,270 | 30,351,382 | △54,408 | 30,296,973 |
| セグメント利益又は損失(△) | 566,722 | 77,683 | △7,141 | 637,265 | △376,599 | 260,666 |
| セグメント資産 | 4,641,156 | 628,406 | 84,350 | 5,353,913 | 951,353 | 6,305,266 |
| その他の項目 | | | | | | |
| 減価償却費 | 142,296 | 30,481 | 4,036 | 176,814 | 7,503 | 184,318 |
| 有形固定資産及び無形固定資産 の増加額 | 155,079 | 8,692 | — | 163,771 | 12,764 | 176,536 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△376,599千円は、セグメント間取引消去874千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△377,473千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. セグメント資産の調整額951,353千円は、セグメント間取引消去△296,660千円、各報告セグメントに配分していない全社資産1,248,013千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社での現金及び預金及び管理部門に係る資産であります。

4. セグメント資産は、連結貸借対照表の資産合計と一致しております。

当連結会計年度(自 2025年2月1日 至 2026年1月31日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 | 連結財務諸表 計上額 |
|------------------------|-----------------|------------------------|---------|------------|-----------|---------------|
| | インターネット 通販事業 | ビューティー &ヘルスケア 事業 | その他事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 31,583,089 | 823,469 | 368,351 | 32,774,910 | — | 32,774,910 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 54 | 8,282 | 44,149 | 52,486 | △52,486 | — |
| 計 | 31,583,143 | 831,751 | 412,500 | 32,827,396 | △52,486 | 32,774,910 |
| セグメント利益 | 638,667 | 26,509 | 1,701 | 666,877 | △385,092 | 281,785 |
| セグメント資産 | 4,707,322 | 604,795 | 71,690 | 5,383,808 | 1,341,955 | 6,725,764 |
| その他の項目 | | | | | | |
| 減価償却費 | 146,428 | 15,902 | 3,040 | 165,371 | 6,940 | 172,311 |
| 減損損失 | 1,672 | 24,965 | — | 26,638 | — | 26,638 |
| 有形固定資産及び無形固定資産 の増加額 | 173,982 | 17,781 | — | 191,763 | 1,031 | 192,795 |

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△385,092千円は、セグメント間取引消去△385千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△384,706千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る一般管理費であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. セグメント資産の調整額1,341,955千円は、セグメント間取引消去△272,093千円、各報告セグメントに配分していない全社資産1,614,049千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社での現金及び預金及び管理部門に係る資産であります。
4. セグメント資産は、連結貸借対照表の資産合計と一致しております。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日) | 当連結会計年度 (自 2025年2月1日 至 2026年1月31日) |
|------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 104円07銭 | 106円53銭 |
| 1株当たり当期純利益 | 0円15銭 | 5円45銭 |

(注) 1. 前連結会計年度及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前連結会計年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日) | 当連結会計年度 (自 2025年2月1日 至 2026年1月31日) |
|---|--|--|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 4,166 | 150,730 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 4,166 | 150,730 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 27,636,500 | 27,636,500 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の内容 | 新株予約権1種類 潜在株式の数449,500株 | 新株予約権1種類 潜在株式の数449,500株 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。